

2022年4月6日

報道関係者各位

連合熊本「2022 春季生活闘争」第一回賃上げ回答集計結果について

日頃より連合運動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、2022 春季生活闘争につきまして、熊本県内の賃上げに関する第一回目の集計を行いましたので、結果を報告いたします。

【概要】

○全国では3年ぶりに2%を超える賃上げ

平均賃金方式で回答を引き出した2,189組合の加重平均は6,319円・2.11%（昨年同時期比856円増・0.29ポイント増）、うち300人未満の中小組合1,366組合の加重平均は5,125円・2.06%（同486円増・0.22ポイント増）となった。いずれも、第3回回答集計において率が2%を超えるのは2019闘争（2.15%・2.07%）以来3年ぶりである。

○熊本県でも4年ぶりに2%を超え、妥結組合数も倍増

熊本県全体の賃上げ額は5,611円・2.09%（昨年同期比+1,447円・0.44ポイント増）、300人以上で6,339円・2.24%（昨同期+2,333円・0.65ポイント増）となり、昨年同期を大幅に上回った。妥結組合数も昨年に比べ倍増しており、人材不足等を背景に、企業側も一定の判断があるのではないかと思われる。またこの時期としては2018闘争（2.02%）以来4年ぶりに2%を超える状況であり、大手を中心とした先行組合が「賃上げの流れ」を継続し、「人への投資」と月例賃金にこだわり、「働きの価値に見合った賃金水準」を意識して粘り強い交渉を行った成果と受け止める。

○熊本県の中小地場組合の交渉はこれからが本番

300人未満の中小組合では、昨年とほぼ同じ水準となっているが、賃上げが明確に分かる組合の賃上げ分については、300人以上の組合が1,536円（0.56%）であるのに対し、300人未満の組合では、1,609円（0.63%）と、大手組合を上回る状況となっている。全体的に、人材の確保や流出防止の観点から、「初任給の引き上げ」や「定年延長」、「ベア実施」や「手当の増額」、「若年層の賃金引上げ」の獲得や、妥結見込みといった組織が多く、昨年とは異なる状況。

○賃上げ以外でも前進がみられるが、二極化も懸念

自動車や製造業を中心に、満額回答やベア獲得などの報告がある一方で、人流に関係する業種や、原材料・エネルギー価格の高騰の影響を受ける業種では、依然として厳しい状況との報告が上がっている。しかし、ベースアップはできないものの、一時金は昨年を上回るなど、人材確保、流出防止の観点からも昨年とは環境が異なるようで、構成組織の各委員からは最低でも昨年同等の水準を確保したいという報告が出された。

以上

※今後の公表予定

- ・5月10日（火）第2回回答集計結果
- ・6月6日（月）第3回回答集計結果

《問い合わせ先》

連合熊本 副事務局長 猿渡

電話：096-375-3811



2022春季生活闘争 賃上げ回答集計

2022年4月5日現在

全国集計		組合員数による加重平均			2021回答 (2021年4月6日公表)		
平均賃金方式	2022回答 (2022年4月5日公表)		昨年対比	2021回答 (2021年4月6日公表)		昨年対比	2021回答 (2021年4月6日公表)
	組合数 組合員数	定昇相当分込み 賃上げ計		定昇相当分込み 賃上げ計	組合数 組合員数		
	2,189 組合 2,173,358 人	6,319 円	2.11 %	856 円 0.29 ポイント	2,136 組合 1,936,383 人	5,463 円	1.82 %
300人未満	1,366 組合 149,362 人	5,125 円	2.06 %	486 円 0.22 ポイント	1,369 組合 143,466 人	4,639 円	1.84 %
300人以上	823 組合 2,023,996 人	6,413 円	2.12 %	882 円 0.30 ポイント	767 組合 1,792,917 人	5,531 円	1.82 %

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

熊本集計		組合員数による加重平均			2021回答 (2021年4月6日公表)		
平均賃金方式	2022回答 (2022年4月6日公表)		昨年対比	2021回答 (2021年4月6日公表)		昨年対比	2021回答 (2021年4月6日公表)
	組合数 組合員数	定昇相当分込み 賃上げ計		定昇相当分込み 賃上げ計	組合数 組合員数		
	41 組合 9,453 人	5,611 円	2.09 %	1,447 円 0.44 ポイント	21 組合 4,414 人	4,164 円	1.65 %
300人未満	28 組合 3,083 人	4,444 円	1.86 %	▲ 48 円 0.07 ポイント	15 組合 1,748 人	4,492 円	1.79 %
300人以上	13 組合 6,370 人	6,339 円	2.24 %	2,333 円 0.65 ポイント	6 組合 2,666 人	4,006 円	1.59 %

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計 (熊本集計)

平均賃金方式	2022回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2021回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	計	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	
全体	27 組合 7,234 人	額(円) 5,585 率(%) 2.11	4,129	1,557	3,848	7 組合 1,144 人	額(円) 3,848 率(%) 1.82	3,152	794	
300人未満	16 組合 2,085 人	額(円) 5,146 率(%) 2.13	3,743	1,609	3,848	6 組合 804 人	額(円) 3,848 率(%) 1.82	3,152	665	
300人以上	11 組合 5,149 人	額(円) 5,830 率(%) 2.11	4,345	1,536	-	0 組合 0 人	額(円) - 率(%) -	-	-	

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

前年・前々年最終集計

平均賃金方式	2021回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2020回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	計	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	
全体	60 組合 12,455 人	額(円) 4,420 率(%) 1.70	4,170	585	4,591	78 組合 19,064 人	額(円) 4,591 率(%) 1.83	3,935	670	
300人未満	46 組合 5,085 人	額(円) 4,040 率(%) 1.70	3,831	702	3,962	58 組合 6,233 人	額(円) 3,962 率(%) 1.73	3,618	982	
300人以上	14 組合 7,370 人	額(円) 4,674 率(%) 1.69	4,386	520	5,131	20 組合 12,831 人	額(円) 5,131 率(%) 1.94	4,603	556	

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2021回答と2020回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

以上